

R 機能的食品因子探索プロジェクト

RITSUMEIKAN

Research project to find food factors to prevent infertility

立命館大学では、2008年度より生命科学部が開設され、生命医科学科・生命情報学科所属の研究者を中心に、少子高齢化の解決を念頭に置いた本プロジェクトを立ちあげました。近年、「妊娠したくても妊娠できないカップル」が増加していることに注目し、その問題を可能な限り「安全」に解決する手段の一つとして、まず始めに卵子や精子の成熟度を上げる食品因子の探索を開始することにいたしました。

事業内容

共同研究や受託研究などの産学官連携研究のほか、特定研究プロジェクト、公的プロジェクトの申請支援活動。また、学会などの研究情報の配信や著名な内外の研究者の講演会、企業様との個別相談等、柔軟かつ迅速な対応で産学官連携を推進します。

本プロジェクトで可能な研究・開発(産学官連携)

本プロジェクトでは、卵子や精子を受精するために最適の状態に保つことができる食品因子の探索を第一の目標としています。とにかく、人の口に運ぶことができるものであれば、どのようなものでも試させて頂きますので、食品関連企業等の関係者の方でご興味をもたれた方、その他関心をお持ちの方は、お気軽にご連絡下さい。幅広い分野の専門家が参加しております。

推進する研究領域

1) 発生学

モデル動物を用いた初期胚発生についての研究、顕微授精、マイクロインジェクション、卵成熟

2) 細胞生物学

細胞内分子動態の可視化、FRET、マスマスペクトロメトリー、細胞内情報伝達、プロテオミクス解析、インタラクトーム解析

3) 生理学

モデル動物を用いた自律神経系調節機構についての研究、中枢神経、脳内情報伝達、神経伝達

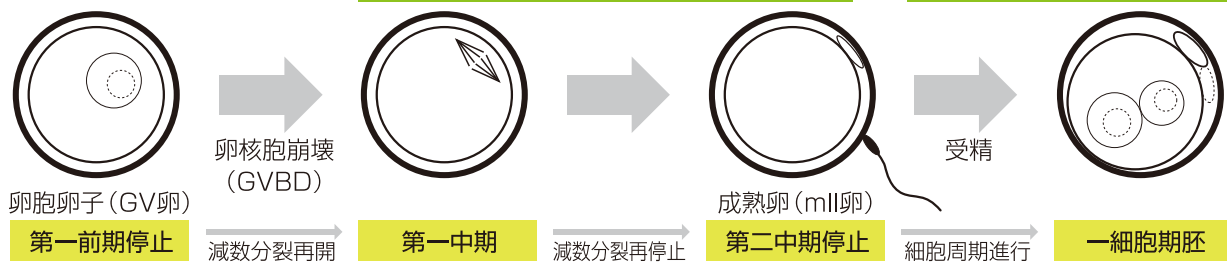
4) 薬理学

腫瘍についての薬理学的研究、がん個別医療の実現に向けた基盤技術作り、がんの物理療法、幹細胞についての薬理学的研究、体性幹細胞による脳機能再生

5) 情報学

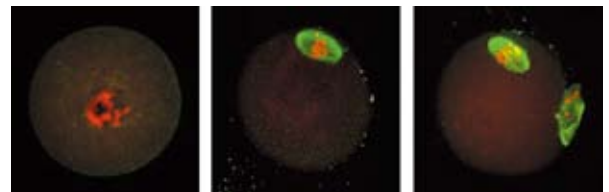
大規模データベースの高速化と効率化

■ マウス卵発生と受精



主な研究環境・設備

- 顕微授精装置 ● 細胞機能解析装置
- 質量分析装置 (MALDI/TOFMS)
- 自律神経活動解析装置 ● 並列コンピューターなど



プロジェクトリーダー

水野 勝重 (総合理工学院 生命科学部 生命医科学科 准教授)

主な研究拠点

立命館大学 (びわこ・くさつキャンパス)

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス (BKC)

TEL:077-561-2802 FAX:077-561-2811 Email: liaisonb@st.ritsumeui.ac.jp